

【集計結果】

2015年12月10日（木）～11日（金）全国一斉労働相談キャンペーン

「労働相談ホットライン～これってもしかして…

“ブラック企業” ブラックバイト!？」

2015年12月10日（木）～11日（金）に各地方連合会において取り組んだ「全国一斉労働相談ダイヤル」について、下記の通り集約概要を報告する。

長時間労働、準備や後片付けの時間は賃金が支払われない、辞めたくても辞めさせてもらえないなど、労働者を使い捨てにする働かせ方が横行している。こうした、「ブラック企業」「ブラックバイト」に対する世間の関心の高まりを示すかのように、全国から寄せられた相談件数は、2日間の集中期間を設けて行ったキャンペーンの中では過去最多となる979件の相談が寄せられた。

		2015年		
集計対象期間		2015年12月10日～12月11日		
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		979		
報告(本部・地方)数		48		
項目	全体	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	559	59.2%	
	女性	386	40.8%	
年代 (不明除く)	10代	8	1.1%	
	20代	115	15.4%	
	30代	118	15.8%	
	40代	246	32.9%	
	50代	157	21.0%	
	60代	84	11.2%	
雇用形態 (不明除く)	70代	19	2.5%	
	正社員	421	48.3%	
	パート	160	18.4%	
	アルバイト	79	9.1%	
	派遣社員	38	4.4%	
	契約社員	64	7.3%	
	嘱託社員	6	0.7%	
臨時・非常勤職員	8	0.9%		
その他	95	10.9%		
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	122	17.2%
	2位	卸売・小売業	100	14.1%
	3位	医療・福祉	95	13.4%
	4位	製造業	89	12.6%
	5位	運輸業	76	10.7%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	153	16.1%
	2位	セクハラ、パワハラ・嫌がらせ	80	8.4%
	3位	雇用契約・就業規則	75	7.9%
	4位	週40時間	68	7.1%
	5位	賃金未払	63	6.6%

【全体の特徴】

- 地域における事前街宣行動をはじめ、キャンペーン前日の過労死を巡る労働事件報道や、当日 10 日にテレビで大きく取り上げられた宣伝効果もあり、全国から 979 件もの労働相談が寄せられた。なお、この相談件数は、2 日間の集中期間を設けて行ったキャンペーンの中では過去最多となった。
- 男女別では、男性からの相談が 59.2%と約 6 割を占めている。業種別では、「サービス業」で働く人からの相談が 122 件、17.2%と最も多く、続いて、「卸売・小売業」（14.1%）、「医療・福祉」（13.4%）となっている。
- 具体的な相談内容としては、「残業をしても『仕事の能力がないから残業することになる』と言われ、残業代を支払ってもらえない」など、本人の能力を理由に残業代を支払わないといった悪質な事例や、「学習塾でアルバイトしている。授業以外の仕事もしているが、授業のコマ分の給料しか支払われない」「何の説明もなくシフトから外されたしまった」など、20 代の学生アルバイトからの相談があった。また、「取引先の商品を市販価格よりも高額で購入することを事実上強要されている。断りたいが次回の契約更新を考えると我慢するしかない」など、雇用不安に怯える労働者の弱みにつけ込んだともいえる事例が寄せられた。

【相談事例】

〈正社員〉

- 1 日の勤務時間が 10～12 時間と長時間労働を強いられている。有給休暇もほとんど取れない状態である。それに加え、上司からの暴言や嫌がらせもある。上司に「これ以上サービス残業はできない」と伝えたら、ますますパワハラがひどくなった。
(女性、40 代、正社員、医療・福祉、東北地方)
- (夫についての相談) 朝 6 時に家を出て、夜 11 時頃帰宅することが常態化している。持ち帰り残業もしている。土・日出勤もあり、休日出勤した場合は振替休日扱いとなるが、振替休日も取れない。
(男性、40 代、正社員、近畿地方)
- 男性上司に食事に誘われ、食事に行ったが食事中に手を握られた。その後、何度も食事に誘われたり、肩をなでられたり、メールが送られてくるなどのセクハラが続いており、体調を崩した。社長に相談したところ、「あいつ（男性上司）は会社に必要な人間だから、あなたが辞めれば良い」と言われた。
(女性、40 代、正社員、建設業、九州地方)

〈パート〉

- (妻について相談) 取引先の商品を 2 ヶ月に 1 度のペースで買わされている。しかも販売価格は市販よりも高い値段で買わされている。上司からは買うことが当然か

のように「今月は何を買うのか」と聞かれる。断ると契約更新がされなかったり、解雇になったりするのではと思い、断ることもできない。そのような状況から、辞めていく人も多い。

(女性、50代、パート、サービス業、東北地方)

○パートで勤務していたが、先日会社から「仕事がなくなったので辞めてくれ」と言われ、即日解雇になった。解雇理由書を求めたが応じてくれず、また解雇予告手当もない。雇用契約書ももらっていない。

(男性、60代、パート、運輸業、関東地方)

〈アルバイト〉

○12月中旬で退職することを申し出ていたが、会社から年末年始シフトに入って欲しいとしつこく言われた。結局、1月初旬まで勤務することになったが、年明けからは卒論などがあり忙しかったため、出勤できないと伝えた。そうしたら、店長から「無責任」とメールが来るようになった。

(女性、20代、アルバイト、飲食店・宿泊業、近畿地方)

○アルバイトで塾講師をしている。アルバイト先では、授業以外の仕事もしているが、その分の賃金が支払われない。退職を申し出たが、「来年の3月までは辞めさせない」と言われている。

(男性、20代、アルバイト、教育・学習支援業、近畿地方)

〈派遣社員〉

○休日に強制的に勤務指定され、時間外労働も強制させられる。休暇もほとんど取れない。派遣元担当者に相談したが、相談したことが派遣先に知られてしまい、「派遣先から「チクリ」「使えない」「ここで働けなくなるよ」など、暴言によるパワハラを受けるようになった。

(男性、30代、派遣社員、製造業、中部地方)

○時間外労働が常態化している。毎月40時間以上の残業をしていたが、派遣元から「45時間以上の残業は困る。時間外申請をすると仕事がなくなるかもしれない」と言われた。勤怠報告書(時間外申請書)とタイムカードの打刻時間との乖離が大きい。不眠症になり、今は仕事を休んでいる。

(女性、派遣社員、医療・福祉、近畿地方)

〈契約社員〉

○労働時間はタイムカードで管理されているが、終業時刻(17時)にタイムカードを一旦打刻させられ、それから深夜零時くらいまで働かせられる。残業代は支払われ

ない。退職を申し出ても認めてもらえず、「会社に迷惑かけるのであれば懲戒解雇にする」と言われた。

(女性、30代、契約社員、建設業、東北地方)

○アルバイト時代から勤務して9年(5年前から契約社員)。会社は2017年から無期雇用化する方針を掲げた。雇止めはないと思っていたが、会社から「来年3月で雇止めにする」と言われた。理由を聞くと「ミスが多いから」とのことだったが、最近、親の介護で時々休むことがあったので、それが理由ではないかと思っている。

(男性、40代、契約社員、金融・保険業、近畿地方)